

2020年版

こくみん共済 coop ガイド

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり



こくみん共済 coop は共済事業を行う協同組合

こくみん共済 coop は正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念の下、たすけあいの仕組み「共済」を通じて、多くの組合員の生活を支えています。

理念

組合員の皆さんと共有すべき
こくみん共済 coop の
変わらぬ価値観です。

みんなでたすけあい、
豊かで安心できる社会づくり

信条

理念実現に向けた
役職員の行動規範です。

組合員のこくみん共済 coop

正直なこくみん共済 coop

努力のこくみん共済 coop

協同組合 とは

協同組合は、生活をより良くしたいと願う人びとが自主的に集まって事業を行い、その事業の利用を中心としながら、みんなで活動を進めていく、営利を目的としない組織です。協同組合に参加したい人はどなたでも出資金を出して組合員になることができ、事業の利用や運営も、組合員によって行われます。「一人は万人のために、万人は一人のために」。人ととの協同を原点に、組合員の生活を守り、豊かにすることを目的として活動しています。

当会のあゆみ

ミニ History



1954年

1955年

1957年

1965年

1976年

1983年

1995年

働く仲間のたすけあい。
～団体生命共済の誕生～

全国労働者共済生活
協同組合連合会の誕生。

負債はいつか返せる。
労働者の信頼は失ったら取り返せない。
～新潟大火の対応～

新潟では発足のわずか5ヵ月後に新潟大火が発生。集まった掛金を上回る共済金の支払いという困難に直面しましたが、労働組合の支援などにより支払うことができました。これを契機に共済事業の全国組織化への動きが起こりました。

誰もが入れる保障があれば
安心して働ける。

～働く仲間の共済始動～

1954年12月、大阪労済で火災共済事業を開始したことが労働者共済事業の始まりです。その後、新潟、富山、長野、北海道、群馬、福島でも発足し、全国へ広がることになりました。



職場で培ったたすけあいの
仕組みを多くの生活者に。

～こくみん共済の誕生～

1983年、地域組合員向けの制度として「こくみん共済」が誕生しました。年齢・性別にかかわらず、同じ保障・掛金であるこの共済は、職場で培ったたすけあいの仕組みをより多くの働く人々・生活者に広げていきました。

「こくみん共済 coop」に込めた想い

「共済を通じて、誰もが安心して暮らせる社会をつくる」

私たちは60年にわたって「たすけあいの輪」を少しずつ広げてきました。

さらに多くの人に親しんでいただくための新しい姿を表す愛称、それが「こくみん共済 coop」です。

少子高齢社会、格差の拡大、大規模災害の頻発…

今、社会が直面している多くの課題に、私たちはできることから取り組んでいきます。

これからも「共済」を通じて人ととの「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」を広げていくために。

私たちは、皆さんとともに、歩み続けます。

「こくみん」とは
「みんな」のこと。

多くの人と「たすけあいの輪」を
むすびます。

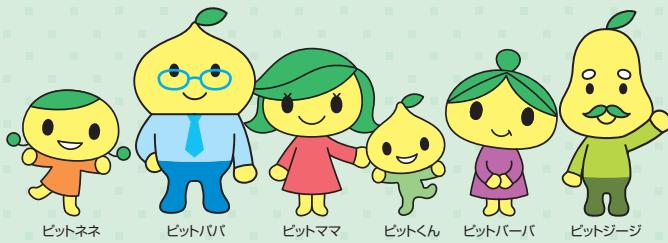
「共済」とは
「互いにたすけあう仕組み」のこと。

必要とされる保障を、一人一人の生活に
合わせて提供します。

「coop」とは
「協同組合(生協)」のこと。

人と人をむすび、そこに集う人たちの
生活を守ります。

●公式キャラクター ピットくん・ピットくんファミリー



たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

タグライン「たすけあいの輪をむすぶ」

これまで培ってきた資産を核に、もう一度「たすけあいの輪」が切れていないか確認し、新たに輪をむすび直して、組合員との交わりを密にし、他の団体ともむすびあって、新たな共済の形を創りあげ、結果を出す。そして未来にむすぶ。

ステートメント

私たちは「共済」を通じて
人ととの「たすけあいの輪」をむすび
「安心のネットワーク」をひろげていきます。

役職員スタイル(行動指針)

- 1.「たすけあい」の心を大切にしよう
- 2.「たすけあい」の輪をむすぼう
- 3.「お役立ち」に徹しよう
- 4.「共に創る」行動を広げよう
- 5.「たすけあい」の成果を共に喜び合おう

1998
年

2007
年

2011
年

2017
年

2019
年

2020
年

創立50周年
理念の制定

創立60周年

新ブランドスタート。

2019年6月、新ブランド「こく
みん共済 coop」をスタート。
社会に広く発信し、想いを伝え、
多くの共感が生まれました。

自然災害に対する
公助に向けて。

～被災者生活再建支援法成立～

日本生協連、連合、兵庫県、協力団体などとともに「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」を発足。約2,500万人の署名を集めて政府に働きかけた結果、被災者生活再建支援法が成立しました。



被災された組合員に
寄り添い続ける。

～東日本大震災の対応～

2011年3月11日、東日本大震災が発生。約3万5,685名の職員を動員し「最後のお一人まで」を合言葉に、被災者の生活再建に向けて総力をあげて取り組みました。お支払いした共済金・見舞金は約1,287億円にのぼります。



**たすけあいの
輪をむすぶ**

こくみん共済 coop は、
次のステージへ。

～豊かで安心できる社会に向けた2年目の挑戦～

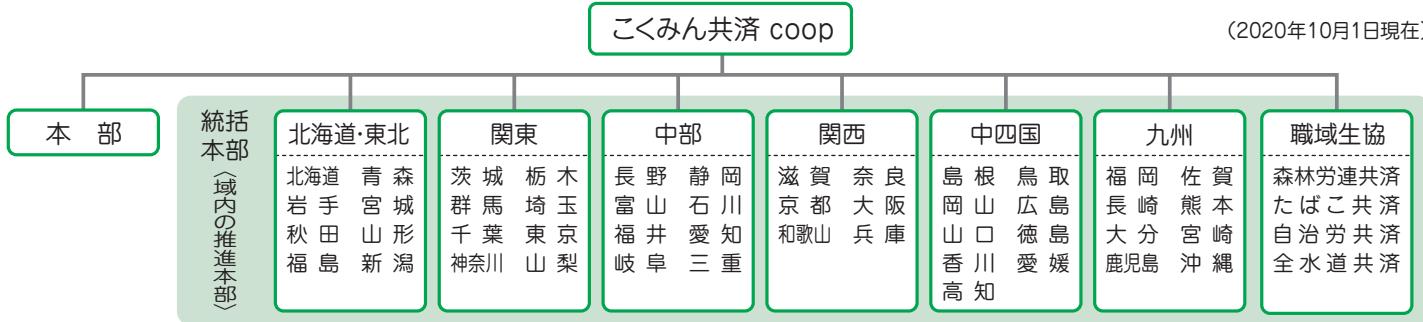
新ブランドスタートから1年、「たすけあいの輪をむすぶ」を合言葉に、さまざまな取り組みを行ってきました。

豊かで安心できる社会に向け、もっと多くの人と「たすけあいの輪をむすぶ」ため、共済だけでなく、私たちにできることに取り組みます。

1 こくみん共済 coop の組織と運営

こくみん共済 coop の組織

こくみん共済 coop(以下「当会」といいます)は、58会員によって構成される生活協同組合の連合会です。この58会員のうち51会員は、単一事業体として運営を行っており、本部と7統括本部で構成されています。



組合員と運営組織

組合員が職場や地域において、それぞれの運営組織に参加しながら、当会の運営を支えています。

■組合員

出資金をお支払いいただければ、どなたでも当会の会員共済生協の組合員資格が得られ、共済事業の利用ができます。

■職場

職場では、労働組合や事業所を「協力団体」という形で登録し、その組合員や従業員に当会や共済の紹介など、各種活動を行っていただいている。各協力団体には、当会の職員が訪問し、共済に関する手続きなどを行っています。

■地域

地域では、主に生活者を対象に、当会に共感していただいた「地域推進員」の方が中心となって、当会や共済の紹介など、各種活動を行っていただいている。

また、全国約200ヵ所の共済ショップなどの窓口、ホームページやお客様サービスセンター(電話)では、共済に関する手続きなどが行えます。

■地区運営組織

協力団体や推進員が中心となって、一定のエリアごとに地区運営組織を設置し、当会への意見反映が行われています。設置状況は、都道府県によって異なります。

機関および運営

組合員の声を事業と運動に反映することを第一として、機関運営を行っています。

■総会

総会は、当会の最高意思決定機関です。会員单位に代議員を選出し、運営します。

通常総会は、毎事業年度(6月～翌年5月末)終了の日から3ヵ月以内(例年8月末)に開催します。また、臨時総会は必要な時に隨時開催します。

■理事会

理事会は、当会の運営および業務の執行に関する重要な事項を審議決定します。2ヵ月に1回または隨時開催します。

■監事

監事は、理事の職務の執行を監査します。また、監査に関する業務の運営および監査の実効性の確保のために、すべての監事をもって監事会を組織しています。



こくみん共済 coop 会館



代表理事 理事長
廣田 政巳
(ひろた まさみ)



代表理事 専務理事
崎田 弘
(さきた ひろし)

こくみん共済 coop グループの構成

こくみん共済 coop

(全国労働者共済生活協同組合連合会)

基本三法人

日本再共済連

(日本再共済生活協同組合連合会)

全労済協会

(一般財団法人 全国労働者福祉・共済振興協会)

組織の概要

(2020年5月31日現在)

名 称	全国労働者共済生活協同組合連合会 (略称:全労済 愛称:こくみん共済 coop)
創 立	1957年9月29日
所 在 地	〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10
会 員 数	58会員
常勤役職員数	3,657名 ※他団体出向者含む
パートナー職員数	1,278名

2 保障の考え方と共済のラインアップ

当会では、組合員の皆さまが自分と家族を取り巻くリスクに対する備え(=保障)全体を認識することにより、保障の充実と家計支出の軽減を図ることを進めています。

(1) さまざまなリスク(不安)から、自分のリスクをみつめる

私たちの身の回りには数多くのリスクが存在します。まず、どのようなリスクがあるのか確認し、それを予防・軽減・回避する対策を講じておくことが、必要な保障を考えるうえで大切です。当会では「人」「住まい」「くるま」の保障分野にわたり生活全般のリスクへの備えを提供しています。

■リスク(不安)とその対策1



各共済の総契約件数は3,052万件となりました。

(2020年5月31日現在)

人	団体生命共済	524万件	火 災 共 済* ²	410万件	火 災 再 共 済	17万件
	こくみん共済	550万件	自然災害共済* ²	216万件	慶弔再共済	442万件
	団体生命移行共済	8万件	マイカー共済	217万件	受託事業	170万件
	個人長期生命共済* ¹	80万件	自賠責共済	25万件		
	終身生命共済* ¹	43万件	交通災害共済	270万件		
	ねんきん共済 新団体年金共済等	80万件				

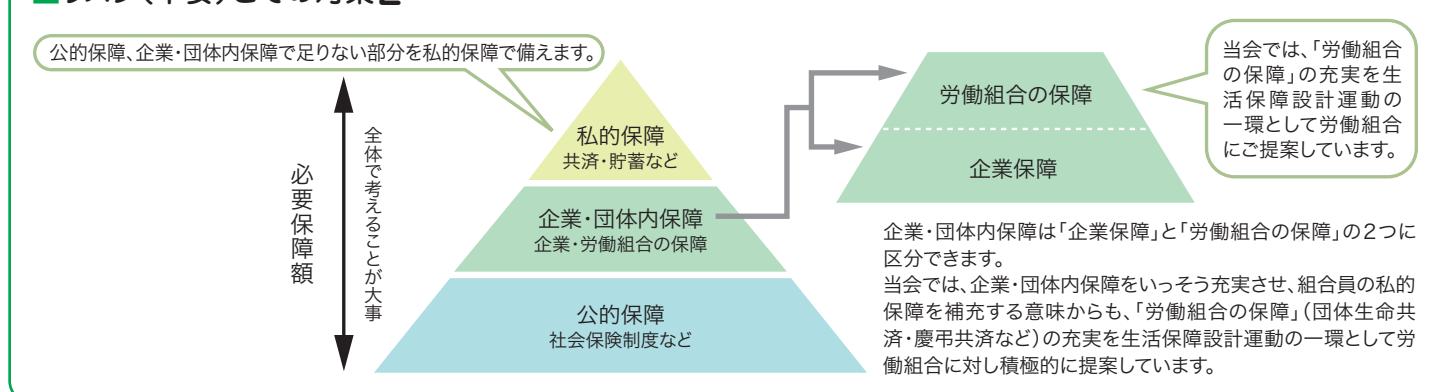
*1 総合医療共済、せいめい共済

*2 住まいの共済

(2) 公的保障、企業・団体内保障をベースに私的保障を考える

当会が提案する「生活保障設計運動」は、ムリ・ムラ・ムダのない「最適な保障」を準備できる本当に必要な保障について、組合員の皆さまとともに考えることを目指しています。

■リスク(不安)とその対策2



3 2019年度 事業と経営の概況

本頁の数値は、四捨五入して表記しています。

**契約件数 3,052万件
支払共済金 3,337億円**

契約高は767兆円(年度目標到達率101.0%)、受入共済掛金は5,640億円(同100.7%)、契約件数3,052万件(同98.4%)、契約口数は39.4億口(同100.6%)となりました。

支払共済金は、2019年8月から10月にかけて日本各地で相次いで発生した台風による災害などを中心にお支払いを進めた結果、3,337億円となり、多くの組合員の皆さまにお役立ていただきました。

**総資産 3兆9,009億円
純資産 4,741億円**

総資産は、3兆9,009億円(前期比444億円増)となりました。

負債は、3兆4,268億円(同295億円増)となりました。このうち、共済契約準備金は、追加責任準備金などの積み立てにより3兆2,499億円、価格変動準備金は、840億円となりました。

純資産は、4,741億円(同148億円増)となりました。このうち、会員資本は、4,550億円となりました。

**経常剰余金 716億円
契約者割戻金 370億円**

経常収益は、6,764億円、経常費用は、6,049億円となり、この結果、経常剰余金は、716億円(前期比92億円増)となりました。

当期剰余金は、183億円(同63億円増)となり、当期に取り崩した任意積立金などを加えた当期末剰余金は、428億円(同52億円増)となりました。

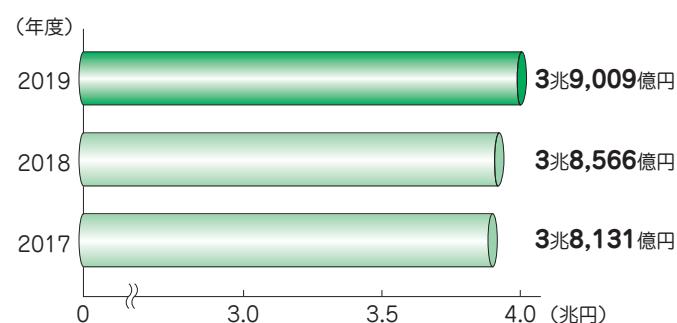
契約者割戻金は、370億円を計上しました。

経常収益計 6,764億円
経常費用計 6,049億円
経常剰余金 716億円

■事業の成果(契約状況)

	年度目標到達率
契 約 高	767兆円 101.0%
契 約 件 数	3,052万件 98.4%
契 約 口 数	39.4億口 100.6%
受 入 共 済 掛 金	5,640億円 100.7%
前年度	
支 払 共 済 金	3,337億円 3,594億円
共済金支払件数	206.7万件 216.7万件

■総資産の推移



剰余金処分

剰余金処分は、下表のとおりとなりました。

(単位:百万円)

1. 当期末処分剰余金	42,839
2. 剰余金処分額	41,313
(1) 法定準備金	3,663
(2) 利用分量割戻金	8
(3) 任意積立金	37,642
3. 次期繰越剰余金	1,526

経営指標

組合員の信頼に応えられる充分な保障力を確保しています。

**■修正自己資本比率 25.2%
■支払余力比率 1,990.9%**

(単位:億円)

摘要	2018年度	2019年度	増減
支払余力総額(A)	12,451	13,195	744
リスクの合計額(B)	1,376	1,326	△50
支払余力比率 (A)/(B)×(1/2)×100	1,810.1%	1,990.9%	180.7ポイント

(注1)消費生活協同組合法施行規則ならびに同法施行規程にもとづいて算出しています。

(注2)生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソリベンシー・マージン比率と単純に比較できません。

■実質純資産額 1兆7,673億円

■基礎利益 1,340億円

(単位:億円)

摘要	2018年度	2019年度	増減
基礎利益	1,130	1,340	211
費差損益	5	5	1
利差損益	△17	△9	8
危険差損益	1,142	1,344	202

(注)基礎利益は、経常剰余金から有価証券売却損益等の「キャピタル損益」と異常危険準備金繰入額等の「臨時損益」を控除した額です。

環境保全活動

豊かな自然環境や生物を守るため、省エネルギー・緑化活動等に積極的に取り組み、次世代に引き継いでいきます。

1. 「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいの共済」による寄付

2008年より「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいの共済」の契約状況、決算実績に応じて、環境活動団体への寄付を実施しています。

2. 「サステナビリティボンド」の取得、「再生可能エネルギーインフラファンド」への投資

資産運用方針にもとづき、ESG運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施しています。

防災・減災活動

万一の災害に備える、災害時に身を守る、災害後に復旧・復興を進めるという観点で、自助・共助の促進に取り組んでいます。

1. 被災地を支援する取り組み

自然災害で被災した地域では、地域の団体・ボランティアの皆さんと一緒に復興支援活動に取り組んでいます。

2. ぼうさいカフェの開催

ぼうさいカフェは内閣府が防災知識普及モデル事業として、社会全体の防災力向上や国民の防災意識を高めるために推進している取り組みです。地震や台風などの自然災害に対して、誰でもちょっとしたことで自分の身を守り、被害を小さくすることができる防災・減災知識の普及を目指しています。



まびフェス（岡山推進本部）



うきうき寄席（熊本推進本部）



福岡県朝倉市仮設住宅引っ越しボランティア（福岡推進本部）

子どもの健全育成活動

子どもの健康増進や子育て支援等を通して、将来を担う子どもたちの健全な成長を支えています。

1. 「7才の交通安全プロジェクト」

小学生になり行動範囲が広がる7才は、交通事故にもっとも遭いやすい年齢であることから、子どもたちを交通事故から守る取り組みを進めています。

2. 「子どもの成長応援プロジェクト」

子どもたちの体力の二極化、体力低下に着目し、子どもたちのすこやかな成長とたすけあいの気持ちを未来につなぐための取り組みを行っています。

3. 「文化フェスティバル」を開催

「子どもから大人まで、それぞれの世代で楽しんでいただける」をキーワードに1992年から舞台公演等を行っています。

4. 「1日お母さん大学」を開校

お母さんが地域の方々と気軽に集い、ともに学び、つながりあう場として、お母さん大学と連携して2016年より開校しています。



文化フェスティバル（青い鳥・東京公演）



たすけあいの普及・促進

「たすけあい」があふれる社会となることを願い、たすけあいをもっと気軽に楽しむための「7つのヒント」や「コラム」を発信する取り組みを行っています。

たすけあいをENJOYするための7つのヒント

1. 気軽に楽しもう
2. ちょっとの勇気がスタートライン
3. アンテナを立てよう
4. たすけた方がうれしい
5. 「たすけてください」はプレゼント
6. 憶えておいた方がいい知識もある
7. うまくいかなくとも、自分を褒めよう



コラムはこちらからご覧いただけます。



応募総数
2,387件

「#たすけてくれてありがとう」をテーマに、「たすけられた経験」をnoteで募集。受賞6作品を公開。

全国ネットワーク(2020年10月1日現在)

職域生協

職域生協統括本部
森林労連共済推進本部
たばこ共済推進本部
自治労共済推進本部
全水道共済推進本部

本部

こくみん共済 coop

渋谷区代々木2-12-10
03-3299-0161

中四国

中四国統括本部
島根推進本部 鳥取推進本部
岡山推進本部 広島推進本部
山口推進本部 徳島推進本部
香川推進本部 愛媛推進本部
高知推進本部
共済ショップ22店舗

関西

関西統括本部
滋賀推進本部 奈良推進本部
京都推進本部 大阪推進本部
和歌山推進本部 兵庫推進本部
共済ショップ20店舗

北海道・東北

北海道・東北統括本部
北海道推進本部 青森推進本部
岩手推進本部 宮城推進本部
秋田推進本部 山形推進本部
福島推進本部 新潟推進本部
共済ショップ53店舗

関東

関東統括本部
茨城推進本部 栃木推進本部
群馬推進本部 埼玉推進本部
千葉推進本部 東京推進本部
神奈川推進本部 山梨推進本部
共済ショップ55店舗

中部

中部統括本部
長野推進本部 静岡推進本部
富山推進本部 石川推進本部
福井推進本部 愛知推進本部
岐阜推進本部 三重推進本部
共済ショップ35店舗

九州

九州統括本部
福岡推進本部 佐賀推進本部
長崎推進本部 熊本推進本部
大分推進本部 宮崎推進本部
鹿児島推進本部 沖縄推進本部
共済ショップ22店舗

最寄りの共済ショップは
ホームページから検索できます。

共済ショップ

検索 

各種お問い合わせ・連絡窓口

■資料のご請求、ご契約内容の確認や変更などの各種お手続きに
関するお問い合わせ・ご相談

お電話

お客様サービスセンター

0120-00-6031

受付時間 平日・土曜9:00～17:00
(日曜・祝日・年末年始はお休み) *

ご来店

都道府県推進本部・支所・共済ショップなどの窓口

WEB

ホームページアドレス

<https://www.zenrosai.coop>

- 各種共済商品の資料請求
- 住所・電話の変更
- 振替口座変更届のご請求

■病気やけが、住宅損害、自動車事故にあわれたとき

こくみん共済 coop 共済金センター

0120-580-699

受付時間 平日・土曜9:00～17:00
(日曜・祝日・年末年始はお休み) *

病気やけがに関する
共済金請求受付ダイヤル

住宅損害受付センター

0120-131-459

受付時間 24時間・365日

マイカー共済事故受付センター

0120-0889-24

受付時間 24時間・365日

*新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、お電話でのご相談について当面の間、受付時間を変更しております。なお、各種お問い合わせはホームページでも受付しておりますのでご利用ください。

たすけあいから生まれた保障の生協です

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会

〒151-8571
東京都渋谷区代々木2-12-10
03-3299-0161(代)

90c20W006